

【小学校算数】

小学校
算数

本市の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

- 「数と計算」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「量と測定」の平均正答率
 - ・ 全国平均を下回っている。
- 「図形」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「数量関係」の平均正答率
 - ・ 全国平均を下回っている。

主として「活用」に関する問題(B)

- 「数と計算」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「量と測定」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「図形」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「数量関係」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

今回の調査における課題

- 乗法及び除法の計算の意味や仕方などについて理解し、それらを適切に用いて式に表し計算すること。
- 平行四辺形や台形などの基本的な平面図形の面積を計算で求めること。
- 平面図形の定義や性質について理解を深め、構成要素及びそれらの位置関係に着目して考えること。
- 計算の順序についてのきまりを理解し、四則の混合した式などを正しく計算することや、数量の関係を、割合に表したり、グラフから変化の様子を読み取ったりすること。

改善の方向

- 数直線や図を用いて、既習と関連付けながら、用いる演算を判断し、計算の意味や仕組みについて理解を深めるとともに、計算結果の見積りを生かしながら正しく計算することができるよう習熟を図る指導や、数直線に表しながら、数の処理や数の性質について理解を深める指導の充実。
- 基準となる量を基にして、身の周りの面積や体積などの量について見当を付けたり、面積や体積を求める公式を導き出したりする算数的活動を取り入れた指導の充実。
- ものの形について観察したり、構成したりする活動を通して、基本的な図形についての理解を深め、問題解決に活用する指導の充実。
- 具体的な場面と式の表現とを結び付ける指導や、数量（基準量、比較量）の関係を割合（百分率）や数直線、グラフ、式などに表すとともに、それらを相互に関連付けて数量の関係を読み取ったりする指導の充実。

算数		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
分類	区分	全国との比較(A)	全国との比較(B)	全国との比較(A)	全国との比較(B)	全国との比較(A)	全国との比較(B)	全国との比較(A)	全国との比較(B)
学習指導要領の領域	数と計算	▽	▽	◆	◆	◆	◆	◆	◆
	量と測定	▽	◆	◆	◆	▽	◆	▽	◆
	図形	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
	数量関係	◆	◆	▽	◆	◆	◆	▽	◆
問題形式	選択式	◆	◆	◆	◆	▽	◆	◆	◆
	短答式	▽	◆	▽	◆	◆	◆	◆	◆
	記述式		◆		◆		◆		◆

△(上回っている) ◆(ほぼ同程度) ▽(下回っている)

※「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲内。